



めざせ!!

地域のヒーロー 消防団

問合せ
防災課地域防災係

消防副団長 石川鋼逸さん



自らの地域は自らで守る

消防団とはどんな組織でどんな活動をしているか皆さんご存知でしょうか。消防団は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。また、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づきそれぞれの市町村に設置され、地域における消防防災のリーダーとして、その地域に密着し地域の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。消防団は「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消火、救助活動はもとより、平常時の啓発活動など幅広い分野で地域防災の要として重要な役割を果たしています。

しかし、近年では社会環境の変化などに伴い、団員数の減少やサラリーマン化などにより消防団も様々な課題に直面しています。時代と共に社会環境が刻々と変化しているように市消防団も今後の運営など、考えなくてはならない時期にきています。今後起こりうる大規模災害に備え、「自らの地域は自らで守る」という強い精神力のある団員の育成がやがて地域の力となり、そして市の安心と安全を守ることにつながります。是非今後とも各地域より多くの団員の輩出をお願いするとともに、引き続き市消防団に対し、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



町をきれいに クリーンピー情報局

問合せ 環境課ごみ減量係

資源ごみ回収と分類について

皆様のご協力により、 多くの資源ごみが回収できます

市では、平成7年より資源となるごみの分別収集を開始しました。市内各地区にごみステーションを設置し、地元町内会の皆さんに管理していただいています。皆様のご協力により、年間およそ1,500tの資源となるごみが回収されています。ご協力ありがとうございます。

皆様のご協力により、費用が軽減できます

市の資源ごみ回収は、各地区のステーションで行うことにより、現在20種類の分別をお願いしています。分別された資源ごみは、再生業者に売却され市の収入になります。分類することにより回収後のさらなる分別費用がかかることなく売却ができ、また、回収のための費用も抑えることができます。

皆様のご協力が、市の未来にもつながります

ごみをごみとして捨てるのではなく、まだ使えるものを分別回収してリサイクルすることによって、限りある資源を有効に使えます。

また、ごみが減ることにより、焼却場や埋立場が少しでも長く使えるようになります。ごみ処理施設を新たに作るためには、多額のお金が必要となるうえ、場所もなかなか見つからないという問題もあります。

平成29年度 資源となるごみ回収量

アルミ缶（飲料缶）	34,065kg
スチール缶、その他の缶	58,550kg
一升びん、ビールびん	17,731kg
無色のびん、茶色のびん 青・緑のびん、黒色のびん	263,980kg
金属類・その他分別できないもの	117,850kg
発泡トレイ、発泡スチロール、ペットボトル、硬質プラスチック	343,326kg
紙類（新聞紙・折込チラシ、ダンボール、紙パック、そのほか雑誌など）	583,550kg
布類	71,100kg
合計	1,490,152kg

資源売却代は年間 15,124,758 円（税込）